

青森県弘前市方言の否定の表現

渡邊 修平

I. はじめに

1. 調査対象地：青森県の中津軽郡に位置し、古く津軽藩の城下町として栄えてきた。現在は県内最大の文教都市となっている。主産業はリンゴ栽培、及び商業で、人口およそ17万であるが、減少傾向にある。
2. 調査年月日：1995年1月27日 午前10時～11時30分
3. 話者：佐藤きむ 昭和7年9月19日生（62歳）
4. 調査者・調査場所：渡邊修平、調査者研究室
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. その他：回答の①は<老・女・丁寧・古>、②は、それを日常的なだけで言い方にしたものと<女・普通・親しみ・多>である。

II. 調査結果

1 動作・作用の否定表現

1. 行かない ○アメ フリソダハンデ キョー ドゴサモ {①イゲヘン ②イガネ}
*「ソ」は入りわたり鼻音。「ハンデ」は理由、「～サ」は方向を表す助詞。「ヘン」は動詞の丁寧形を作る「～ス(シ)」の未然形「(セ)→ヘ」に否定の「ン」がついたものと考えられる。(注)
2. 降らないよ ○キョー アメ {①フレヘンキャ ②アメ フラネキャ}
3. 行きません ○キョー ドゴサモ イゲヘン
4. 行きはしない ○キョー ドゴサモ {①イゲヘンテ ②イガネッテ}
5. いらっしゃらない ○センセー キョー ドゴサモ オイデニ {①ナレヘン ②ナネエ}
6. 行かなかった ○キョー ドゴサモ {①イゲヘン ②イガネ}
*過去の場合でもこのように表現することが多い。
7. 行きはしなかった ○キョー ドゴサモ {①イゲヘン ②イガネ}
*強めは促音化によって表され、形態的な変異はない。
8. 行くまい ○アメ フリソダハンデ キョー ドゴサモ {①イゲヘン ②イガネ}
*「～マイ」の形は用いない。
9. 出まい ○アメ フリソダハンデ キョー ドゴサモ {①デハレヘン ②デハネ}
*「デハル」は「外出する」意の動詞。
10. すまい ○キョー ナンモ {①セヘン ②サネ}
*「セヘン」「サネ」は共通語の「しません」「しない」に対応する形。
11. 降らないだろう ○キョー キット アメ {①フレヘンピョン ②フラネピョン}
*推測、確信の程度に応じた細かな変異はなく、「ピョン」によって推量を表す。

12. 降るに違いない ○アス キット アメ {①フレスビョン ②フルビョン}

13. 来ない ○キョー ダレモ {①キヘン ②コネ}

14. 来はしない ○キョー ダレモ {①キヘン ②コネ}

*強めは長音化によって表される。

15. 来なかった ○キョー ダレモ {①キヘン ②コネ}

16. 見ない ○キョー ダレゴトモ {①ミヘン ②ミネ}

*「ゴト(コト)」は人名や代名詞について用いられる形態で、名詞の「事」が助詞化したもの(註)と考えられる。「ワラシコト シカル(子どもを叱る)」のように用いられる。

17. 居ない ○キョー ダレモ {①イヘン ②イネ}

18. 行かずに ○ドゴサモ イガネンデ エサ ①イス/②イル

*「エ」は「家」の意。

19. 行かなくても ○ワザワザ イガナクテモ ①イゴスキャ/②イ

20. 行かなければ ○ワザワザ イガネバ イクテ ①アイシタ/②アタ

*「アイシタ」は「アレシタ」のラ行音が弱化したもの。「有り」+丁寧の「ス(シ)」+過去の「タ」と考えられる。

21. 行かねば ○ドシテモ イガネバ ①マイヘン/②マイネ

*「マイヘン」「マイネ」は共通語の「だめです」「だめだ」に対応する表現。

22. 23. 該当する表現なし。

24. 行きもせず、来もしない ①コッチガラモ イゲヘンシ、アッチガラモ キヘンキャ /②コッチガラモ イガネシ、アッチガラモ コネ

25. 行くか行かないかわからない ○アスモ イグガ イガネガ {①ワガリヘン ②ワガラネ}

2 存在・状態・判断の否定表現

26. 無い ○コンキシカ {①ネゴスキャ ②ネ}

*「コンキ」は共通語の「これぎり」、「ゴス(ゴイス)」は「ごさいます」に対応する形態。

27. 無いねえ ①コトシダケンタ ヌグイトシ ネーネハ /②コトシダエタ ヌグイトシ ネーノ

*「ケンタ」は比況の意を表す助動詞と考えられる。「ネハ」は丁寧な意を添える助詞。「エタ(エンタ・ンタ)」も比況あるいは推量の意の形態。

28. ありはしない ①コトシダケンタ ヌグイトシ アレヘンキャ /②コトシダエンタ ヌグイトシ ネーノ

29. 無かったねえ ①コトシダケンタ ヌグイトシ イママデ ナクテアタネハ /②コトシダエンタ ヌグイトシ イママデ ナクテアタノ

*「ナクテアタ」は「無くて」に「あった」が接続した形で、過去完了のニュアンスを表す。

30. ありはしなかった ①コトシダケンタ ヌグイトシ アレヘンテ /②コトシダエ
タ ヌグイトシ ネット

*この場合の強めは「～って」で表される。また今までと同様に過去形を用いない。

31. 無いだろう ①コトシダケンタ ヌグイトシ モー ゴイヘンビョン /②コトシ
ダエタ ヌグイトシ モー ネビョン

*「ゴイヘン」は丁寧の「ゴス(ゴイス)」の打ち消し形。

32. 無ければいいのに ○ヌグイナツダノテ ネバ インダバッテ

*「バッテ」は共通語の「けれども」「～のに」に対応する助詞。

33. 暑くない ○アンマリ ヌググ {①ネゴスキャ ②ネーノ}

34. 暑くはない ○アンマリ ヌググダバ {①ネゴス ②ネ}

*「ダバ」は指定辞の「ダ」+接続助詞「バ」と考えられる。註

35. 暑くなかった ○アンマリ ヌググ ナクテ ①アレシタ ②アタ

36. 暑くはなかった ○アンマリ ヌググダバ ナクテ ①アレシタ ②アタ

37. 暑くないだろう ○アスモ ヌググ {①ネゴスビョン /②ネビョン}

38. 涼しくないねえ ○キョー アンマリ スズシク {①ネーネハ /②ネーノ}

39. にぎやかでない ○アンマリ ニギヤカデ {①ネーネハ /②ネーノ}

40. にぎやかではない ○アンマリ ニギヤカデダバ {①ネーネハ /②ネーノ}

41. にぎやかでなかった ○アンマリ ニギヤカデ ナクテアタ ①ネハ ②ノ

42. にぎやかではなかった ○アンマリ ニギヤカデダバ ナクテアタ ①ネハ ②ノ

43. にぎやかではなからう ①モー マエダケンニ ニギヤカデダバ ネビョン
/②モー マエダエニ ニギヤカデダバ ネベナ

*「ケンニ」「エニ」については 27. の注記を参照。

44. 花ではない ○アレダキャ ハナデ {①ネゴスキャ /②ネキャ}

*「ダキャ」は「ダバ」と同じように用いられるが、文末にも多く用いられる。

3 特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現

45. やってもだめだ(不可) ○ナンボ ヤタテ {①マイヘンキャ /②マイネツキャ}

46. だめなやつだ ○アレダキャ ドスモナネ ヒト ①デスキャ ②ダキャ

*「ドスモナネ」は共通語の「どうしようもない」に対応する表現。逐語的には「どうする(こと)も・ならない」とするべきか。

47. つまらないことを言うな ○ナンモ ナネンタゴト ①シャベネホ イゴスキャ
②シャベスナ

*「ナンモ ナネンタゴト」は「なんにもならないこと」の意。「ス」は動詞の丁寧形を作る。

48. 行ってはいけない (禁止) ○ソシタドゴサ イゲバ ①マイヘン ②マネ
49. 該当する表現なし。
50. 行くな (禁止) ○ソシタドゴサダバ イゲスナ <老・女・丁寧・古>
51. するな (禁止) ①イタズラセバ マイヘン / ②イタズラ ヘスナ
*「ス」は丁寧で、「ナ」(禁止)を丁寧に言う形。
52. 行くもんではない ○ソシタドゴサ イグモンデヘン
*「～デヘン」は「デ(ゴイ)ヘン」(丁寧な打ち消し)の縮約形か。
53. たまらない ○キョーダバ ヌグクテ ドスモ {①ナレヘンネハ / ②ナネ}
54. しかたがない ○アメハレルノ マテタタッテ ナンモ {①ナレヘンネハ / ②ナネ}
*「ッ」は促音が短い発音。「タ(ッ)テ」は仮定よりも確定に近い言い方。
55. 楽ではない ○トグイドゴマデ アルグンダバ {①タンダデヘンネハ / ②タンダデネ}
*大変なこと、つらいことを「タ(ン)ダデネ」「ただ(の苦勞)ではない」のように表現する。「トグイ」(gwi)は「遠い」の連体形。
56. 歩きたくない ○トグイドゴマデ アルキタグ {①ネーネハ / ②ネ}
57. 心配しなくても大丈夫だ ①クシテケナクテモ ダイジョーブダハンデ ②クサネクテモ ダイジョーブダハンデ
*「心配する」を「ク(苦)ニスル」という。また「くれる」が「ケル」となるので「心配してくれなくても」に対応する。「サネクテモ」は動詞「スル」の未然形「サ(社)」で、「心配しなくても」に対応する。

4 否定の応答表現

58. いや ○ンーン ①フレヘンネハ ②フラネ
59. いや (強い否定) ○ンーン ナンモ ①フレヘンキャ ②フラネ
60. いいえ ○ンーン フレヘンデシタ
61. いや (否定問いかけに対する応答) ①ウン フッタ ②ン フラネ
62. どういたしまして ①オソマツヘシタネハ マンダ オイデナハテ クダサイヘ
②オソマツヘシタ マンダ キテケヘ
*文末の「へ」は女性語にみられる動詞の命令形を丁寧にする形態で、この場合は命令形の和らげとなる表現。

5 不可能の表現

63. できない ○ソシタゴト {①ワダシダバ デギヘンネハ ②オラダバ ヤエネ}
*可能表現は ○ソレダバ ①ワダシデモ デギスネハ ②オラデモ デギルキャ
64. 読むことができない (状況) ○クラクテ シンブン {①ヨマエヘン / ②ヨマエネ}
*可能表現は ○シンブン {①ヨムニエゴスネハ / ②ヨムニイッキャ}
65. 読むことができない (能力) ○シンブン {①ヨメヘンキャ / ②ヨメネ}
*可能表現は上記と同じ。状況による不可能は一般的に「～エネ・～ラエネ」で表

されるのに対し、能力による不可能は「～ネ・～レネ」の形を取る。なお、可能表現の「～ニイー(～によい)」は一般的によく使われる形で、状況・能力両方に用いられる。ただし、「～ニワルイ」のような否定表現はない。

66. 出られない(心理的状況) ○コシタ ハデダフグ キテダバ マチサ {①デラエヘン / ②デラエネ}

67. 食べられない ○コノキノコ {①タベラエヘンキャ / ②カエネ}

* 動詞「クウ」(食う)は一音節化して「ク」であり、未然形は「カ(ネエ)」「カ(セル)」「食わせる」、連用形は「ク(シタ)」、連体形は「ク(トキ)」、仮定形は「ケ(バ)」、命令形は「ケ」となる。

68. 食べることができない ○イソガシクテ {①ヒルゴハンモ タベラエヘン / ②ヒルママモ カエネ}

6 反語・反発の強調表現

69. 知るものか ○ソシタゴト {①ワダシ ワガレヘン / ②オラ ワガルモダガ}

* 「モダガ」は「モ(ン)+ダ(断定)+ガ(疑問・反語)」の表現。

70. 誰が行くものか ○ソシタドゴサ ダレ {①イグモデス / ②イグモダシテ}

* 「モダシテ」の「シテ」は、強意あるいは強く問う場合に用いられる。「イグノガシテ(本当に行くのか)」「ワガルガシテ(本当に分かるのか/分かるものか)」

71. なんて行くか(行くものか) ○ソシタドゴサ ナシテ {①イグモデス / ②イグモダシテ} * 「ナシテ」は「なんて」に対応する。

72. なんて恥ずかしいものか(なんて恥ずかしかるうか) ①ナシテ メグセソダシテ
②ナシテ メグサガルソダシテ

* 「メグセ・メグサガル」は共通語の「恥ずかしい・恥ずかしがる」に対応する。

73. 行かないでおるものか(行くとも!) ○ナンタカソダ {①イゲスジャ / ②イグキヤ}

* 「ナンタカソダ」は「何しても・どうしても」の意を表す連語的副詞。

74. それがお前にやれるか ○ソレシテ {①アンタ ヤレルガシテ / ②オメ ヤレルガ}

* 「シテ」は70.と同じ助詞。

75. そんなにいやならシテイラン ○ソレホド マネダバ ヤッテケナクテモ イー

* 「マ(イ)ネエ」は共通語の「だめだ・よくない・いやだ」等、否定を表す語。

7 特定の副詞の関わる否定表現(付. 否定形式の見られる特定副詞)

76. 暑くて仕事が少しもはかどらない ○ヌグクテ シゴト ナンモ ハガ {①イゲヘン / ②イガネ}

77. 仕事がぜんぜんできていない ○シゴト ナンモ {①デギデヘン / ②デギデネ}

78. 雨がいっこうに降らない ○アメ ナンモ {①フレヘン / ②フラネ}

79. 今日も雨があまり降らない ○キョーモ アメ アンマリ {①フレヘン / ②フラネ}

80. 芋が(予想外に)たくさんとれた ①○イモ ナンボデモ トレデ オモシロクテ

アッタネハ ②に該当する表現なし。

8 その他否定形式の関わる諸表現

81. わざわざ行かなくてもいいではないか ○ワザワザ イガネタテ {①エンデヘンガ / ②エンデネガ}
82. わざわざ行かなくてもいいのではないかと ○ワザワザ イガネタテ {①エンデヘンガ / ②エンデネガ}
- * 質問に対応する表現はしない。上記項目の回答と同様に表現する。
83. わざわざ行かなくてもいいかもしれない ○ワザワザ イガネタテ {①エンデヘンベガ / ②エンデネベガ}
84. いっしょに行かないか ○イッシヨニ {①イゲヘンガ / ②イガネガ}
85. これを持ってくれないか ○コレ モツテ {①ケヘンガ / ②ケネガ}
86. これを持ってくませんか ○コレ モツテ {①ケヘンベガ / ②ケネベガ}
87. これを持って下さいますか ○コレ モツテ クダサイヘンベガ
88. 早く行かないと(～行けば)(勧奨) ○ハヤグ イガネバ

III. まとめ

以上の資料を概観すると、当方言の否定表現は基本的には共通語の「～ない」に対応する「～ネ(ネエ)」(女・普通・親しみ・多)と「～ヘン」(老・女・丁寧・古)によって表されている。この「～ヘン」の前接形態は「イゲヘン・フレヘン・アレヘン」等のように表記されるが、これは「ゲ」「レ」の母音が[i]と[e]の中間の音のように発音されるため、話者によっては「イギヘン・アリヘン」に近い場合もあると考えられる。また、「～していない」の場合は、「ヨンデヘン」(読んでない)、「カイデヘン」(書いていない)のように表される。

形容詞の過去形は一般に「～クテアッタ」の形をとり、「ナクテアッタ」(無かった)、「サンビクテアッタ」(寒かった)、「ヌグクテアッタ」(暑かった)のように表現される。71「なんで行くか(行くものか)」に対応する「ナシテ イグモデス」の「デス」は、共通語と同形態の「です」ではなく、「モ(ノ)+デ(断定)+ス(丁寧)」と解釈される。

以上のように当方言の否定表現は、より丁寧な形式とより親しい日常的な表現とでその形態を異にすることが多く、位相的な差異の反映を見ることが出来る。

(わたなべ しゅうへい 弘前大学教育学部)

注 此島正年著『青森県の方言』津軽書房(昭和43年初版)による。